

2013年3月期第1四半期決算に関する主な質問

2012年9月4日

セガサミーホールディングス株式会社 IR担当

2013年3月期第1四半期実績

■全体について

Q: 前年同期(2012年3月期第1四半期)と比較して、増収、増益となった要因は？

A: 主に、遊技機事業においてパチスロの販売が堅調に推移したこと、前期にフェニックスリゾート株式会社を完全子会社化したことにより、増収となりました。

また、遊技機事業においてパチスロの販売が堅調に推移したことに加え、コンシューマ事業において実施している構造改革により、営業費用等が抑制されたことにより増益となりました。

Q: 第1四半期時点で、営業利益が上期計画値を上回ってきているが、業績予想を修正しないのか？

A: 現時点までは、概ね堅調に推移しておりますが、業績予想につきましては、第2四半期における主力製品の販売動向を見極め、修正の必要がある場合には速やかに公表いたします。

Q: 設備投資額が前年同期と比較して、大きく増加している要因は？

A: 主に、子会社のサミーにおける新工場、新流通センターの建設により増加しております。

Q: 減価償却費の会計方針を変更した理由、及び影響額は？

A: 当社及び国内連結子会社の有形固定資産の耐用年数は、主として法人税法に準拠しておりましたが、今期より経済的耐用年数を考慮して決定した耐用年数に変更しております。また、有形固定資産の減価償却方法についても、主として定率法を採用しておりましたが、今期より主として定額法に変更しております。これらは、大規模な設備投資を計画したことを契機に、改めて、実態に即した方法に見直したことによるものであります。なお、従来の会計方針と比較した場合、当第1四半期の減価償却費は約6億円減少しております。

Q: 韓国における、カジノ事業を含む複合型リゾート施設に出資する目的は？

A: 当社グループは、カジノを含む複合型リゾート施設の運営事業を新たな収益機会と考えており、その基盤づくりの一環として、Paradise Group との合弁会社である、Paradise Sega Sammy への出資を決定いたしました。なお、当該合弁会社は既に設立されております。

■遊技機事業について

Q: 前年同期比で増収・増益となった要因は？

A: 前年同期と比べ、『パチスロ モンスターハンター』、『パチスロ コードギアス 反逆のルルーシュ』をはじめとしたパチスロ機の販売台数が増加したことにより、増収・増益となりました。

Q: 利益率が高いパチスロの売上比率が高まったにも関わらず、前年同期比で営業利益率が低下した要因は？

A: 主に、利益率の低いロデオブランドの販売比率が高かったことから、前年同期比では若干利益率が低下いたしましたが、今期の計画に対しては堅調に推移しております。

■アミューズメント機器事業について

Q: 前年同期比と比較して増収・増益となった要因は？

A: 新規の大型タイトルの販売は無かったものの、カード等の消耗品販売ならびに、レベニューシェアタイトルの配分収益などが堅調に推移いたしました。

■アミューズメント施設事業について

Q: 前年同期比で減収・減益となった要因は？

A: 店舗数の減少及びセガ国内既存店売上高が前年同期を下回ったことにより、減収・減益となりました。

■コンシューマ事業について

Q: 前年同期比で減収・増益となった要因は？

A: 主に、パッケージ分野において実施している構造改革の施策の一部として、パッケージタイトル数の削減を行っていることから減収となりましたが、営業費用等の抑制により損失幅縮小となりました。

Q: 7月に「株式会社セガネットワークス」が設立されたことにより、デジタル分野の取り組みはどう変わるのか？

A: セガネットワークスの分社化に伴い、デジタルゲーム分野における意思決定の迅速化、従来の「開発主体」から「運営主体」の体制への移行、及び顧客ニーズへの迅速な対応などを行い、収益の最大化を図ってまいります。

Q: 「コンプリートガチャ」に対する方針や、業績に与える影響は？

A: 一部のサービスには付加要素として「コンプリートガチャ」に相当する仕組みのものを採用しておりましたが、5月31日には全ての相当する仕組みを停止いたしました。なお、本件による業績への影響はありません。

Q: デジタルゲーム分野における主な実績は？

A: 前々期にサービスを開始した、『Kingdom Conquest(キングダム コンクエスト)』において、累計ダウンロード数が300万ダウンロードを突破するなど、本格的な展開を行っております。

なお、第2四半期においては、7月4日に今期の主力タイトルである『ファンタシースターオンライン 2』のサービスを開始しており、7月20日には累計登録者数70万人を突破するなど、非常に好調なスタートを切っております。

以上

※本資料における業績見通し等の内容は、現時点で入手可能な情報に基づき、経営者が判断したものであります。従って、これらの内容はリスクや不確実性を含んでおり、将来における実際の業績は、様々な影響によって大きく異なる結果となりうることを予めご承知おき下さい。